

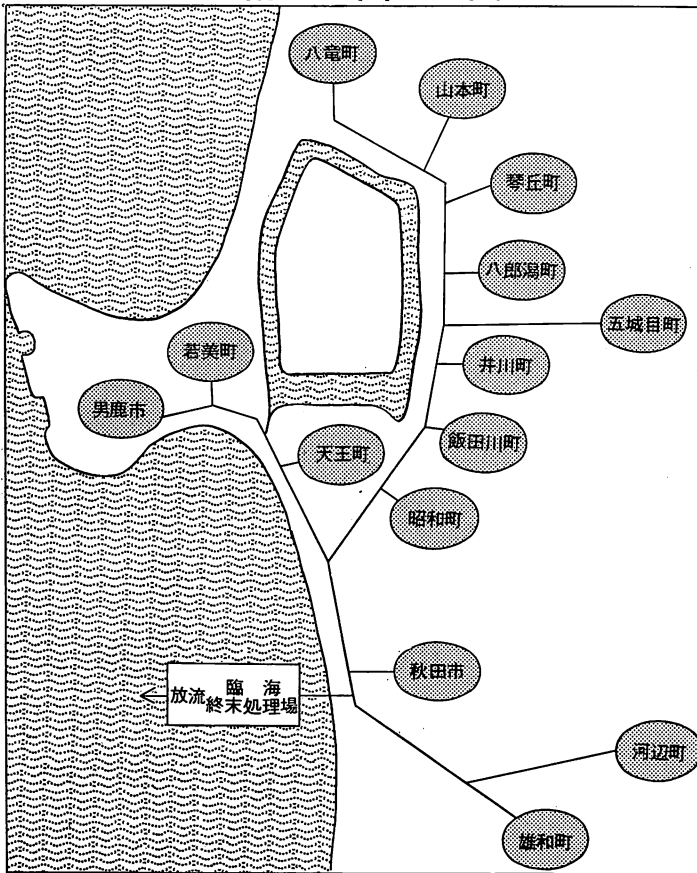
あきたのつてん

発行・秋田県天王町役場 電話(018878) 2211~4

編集・企画室 印刷・一日市印刷 電話(018875) 2038

町のうごき	
本籍数	4,983
本籍人口	15,522
世帯数	3,909 (3,894)
住民登録人	14,698 (14,657)
内{男	7,132
女	7,566
10月1日現在	
()内は9月1日現在	

計 画 図



近年、水質汚濁の進行が著しく、都市部、農山漁村を問わず生活環境の悪化など種々の問題をなげかけるようになってきた。

このため県では、水質汚濁による生活環境の悪化に対処し、都市及び農山漁村の健全な発展と公衆衛生の向上をはかることにも、公共用水域の水質保全に資するため、昭和七十年を目標年次に下水道を整備することとし、昭和四十七年度から秋田湾

この計画によると、計画年度は、昭和五十年度を初年度とし昭和七十年度で完了することを目標としているが、事業の着手については、その緊急度からし

(A) 直ちに事業に着手する必要

がある区域 (直ちに事業に着手し、昭和六十年までに完成)

(B) 可及的すみやかに事業に着手する必要がある区域 (昭和五十五年頃に事業に着手し、昭和六十五年までに完成)

(C) 環境保全の面からすみやかに事業に着手する必要がある区域 (昭和六十年頃に事業に着手し、昭和七十年までに完成)

総合計画まとめまる

秋田港、雄物川流域下水道整備

このうち、本町を含む二市十二町(秋田市、男鹿市、八郎潟町、五城目町、飯田川町、井川町、昭和町、若美町、八竜町、山本町、琴丘町、河辺町、雄和町)の臨海処理区は、最も水質汚濁が進行しており早急に整備

しなければならない区域とされている。

中でも、秋田市、男鹿市、天王町、八郎潟町、五城目町、飯田川町、井川町、昭和町の二市六町については、前記の(A)区域とされており、その整備が急がれている。

本町でも

基本計画を

このように、県では昭和五十年度を初年度として、下水道整備事業に着手するわけですが、県で実施するのは、いわゆる幹線(本管)のみであり、家庭から排出される汚水を処理するなど下水道本来の機能を果たすためには、支線(枝管)の布設が必要とされるわけです。

しかし、この枝管の布設は、当該市町村が実施することとされているため、町では、県で実施する本管工事の進捗状況とあわせて枝管の布設を計画的にすすめることとし、健康で快適な社会環境を確保するとともに、美しい自然と住みよい郷土づくりに念頭にしながら下水道整備に必要な基本計画の作成に着手している。

一般会計予算、町有地の売却

一 二案件を原案可決

— 十月十六日に臨時町議会 —

臨時町議会が十月十六日に開かれ、五十年度の一般会計補正予算案と町有地を県に売却する案の二案件を原案どおり可決して同日閉会した。

購入費に三十万二千円、農村総合整備モデル事業として進めている二田七号線と八号線の用地購入費の九万七千円などである。

農道整備関係に 海岸道路用地を 県に売却

九百三十五万円

今回、一般会計補正予算に補正された額は九百三十五万四千円、これで五十年度の歳入歳出予算総額は、十億五千五百三十一万二千円となった。

これは、農道整備事業と舗装事業関係だけの補正で、主なものには蒲沼地区、下分水地区、鶴沼台地区の工事請負費に八百六十四万七千円、蒲沼地区の用地

県で進めている海岸道路の建設用地として町有地を秋田県に売却することになった。

これは県道、秋田男鹿線の交通事情を緩和するためのもので売却するところは天王追分西(秋田外材工業KKの海岸添い)の山林で八千六百九十九坪を八百九十八万五千九百円で売却するもの。一坪当り千二百円。

農業者年金

いよいよ始まる

経営移譲年金

農業者年金の加入者で大正五十年生まれの人は、経営移譲するに来年から経営移譲年金がもらえます。

農業者年金には、経営移譲年金と農業者年金の二種類があり、来年から支給が始まるのは経営移譲年金です。

経営移譲年金は、保険料納付済み期間等が二十年（大正五十年）以上ある人が六十五歳になるまでに経営移譲した場合に支給されることになっています。

支給開始時期は

大正五十年生まれの人が昭和五十一年一月以降に経営移譲しますと、年金は経営移譲した月もしくは六十歳になった月のいずれか遅い月の翌月から支給されます。

例えば、大正五十年一月生まれの人が昭和五十一年一月に経営移譲しますと、六十歳になるのも一月ですと、年金は二月分から支給されます。

また、大正五十年十月生まれの人が昭和五十一年一月に経営移譲しますと、六十歳になるのは十月ですと、年金は十一月分から支給されます。

最初の年金の支払いは昭和五十一年二月、三月、四月分をまとめて農協を通して五月末に行われます。

支給の手続

経営移譲年金の支給を受けるためには、裁定請求書を農協の年金係に提出することになります。

この裁定請求書には経営移譲年金の支給の要件となっている経営移譲の方法等、年金受給資格の有無を判断するのに必要な事項が記載されます。

★経営移譲

年金の受給額

納期	年金額 (月額)	年金額 (年額)
5年	17,600円	211,200円
10年	23,466円	281,600円
15年	29,333円	352,000円
20年	35,200円	422,400円
25年	44,000円	528,000円
30年	52,800円	633,600円

経営移譲とは

経営移譲は、基準日（経営移譲が終了する日の一年前の日）において、自作地（所有地）と小作地（借入地）とを合わせて三十アール以上ある人が、後継者や第三者にその自作地と小作地の全部を処分して、自らは農業経営を廃止することをいいます。

いかにえますと、基準日から一年の間に自分の権利名義で、農業経営に用いていた自作地と小作地を自分の息子や他の農家等に譲渡するか、貸すかして農業経営から引退することです。

「税を知る週間」始まる

国は、わたしたち国民の幸福と繁栄のために幅広い活動を行っています。税金は、このような活動の大切な財源であり、わたしたちの日常生活においてもいろいろな面でもかかわりあっています。

このように、国民生活に深いつながりをもつ税金のゆくえや税金のしくみを国民のみならず、正しく理解していただくために、国税庁、国税局、税務署では、十一月十一日から十七日までを「税を知る週間」として、全国一斉にいろいろな行事を行います。

所得税

第二期分の納税は

十二月一日まで

今月は、所得税第二期分の納税の月です。所得税は、第一期から第三期にわけて納めていただくことになっており、このうち、第一期分と第二期分を予定納税とい

飲酒、暴走運転をやめよう

30日まで交通死亡事故抑止運動

三十日までの交通死亡事故抑止運動期間中は、連続発生する死亡事故をなくすため①飲酒運転の徹底②歩行者保護③子どもと老人の交通安全④暴走運転の

徹底追放を重点としています。飲酒運転は依然としてあつたらず、一部に潜在者も見受けられ、歩行者や善良な運転者の脅威となっています。①飲んだら乗らない ②乗るなら飲まない ③乗るなら飲ませないの三つの運動にご協力ください。交通弱者といわれる子どもと老人の交通事故では、急な飛び出し、車の直前直後の横断による被害が圧倒的に多く、運転者の歩行者保護はもちろんです。子どもや老人のいるご家庭では安全教育をし、事故の未然防止にご協力ください。

暴走運転は、警察の取り締まり、地域住民の追放意識にもかかわらず、依然減少の傾向が見られず、大きな事故も発生しており、社会問題化している現状です。町ぐるみ、地域ぐるみで暴走運転を追放しましょう。悪質な違反を見つけたら、ナンバー、車種、場所などを一〇番へ通報を！

12月8日から 失保の受け付け

安定所では毎週金曜日、

ことしも、出かせぎから帰った人と県内での季節労働者を対象に求職者の書類手続きなどと求職取り次の事務が役場経由で行われます。

職業安定所の受け付けは十二月八日から一月三十一日までの期間中、毎週金曜日午前九時から十一時までと午後一時から三時まで行われます。

受給に必要な書類は、失業保険被保険者離職票、住民票、配偶者を扶養親族にする場合は農業委員会の証明、求職票です。求職票は役場民生係で交付します。

役場で 電話交換手を募集

役場ではパートタイムの電話交換手二名を募集しています。資格は町内に住む四十歳以下の女性です。賃金は一時間当り三百円で、午前勤務と午後勤務の各一名づつになります。

希望者は履歴書を役場総務課へ提出してください。

25日に無料 人権相談所 を開設

十一月二十五日、午前十時から午後三時まで役場で「無料人権法律相談所」が開設されます。

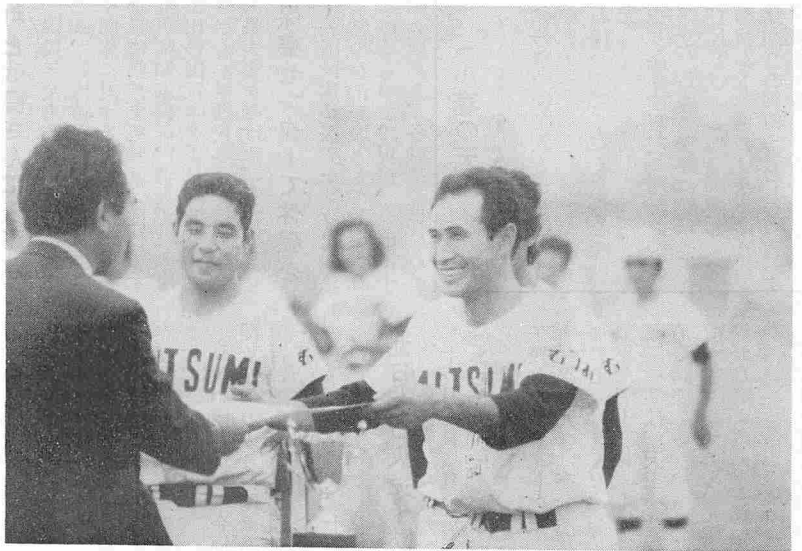
これは、秋田人権よう護委員協議会と秋田地方法務局が開設するもので、土地、家屋の権利問題、親子、夫婦、扶養、相続などの問題でお困りの方は、気軽に相談してください。

皆さんの相談したことは、秘密に扱われます。当日の相談の担当者は、法務局職員の方に、本町の人権よう護委員があたります。

おこわり

上法香苗先生の調査と執筆によって昭和四十七年五月一日号のワンカゴの紹介から本紙に民俗資料の紹介欄を設けて連載し各位から好評をいただいておりますが、先生のご逝去によって、本欄の掲載を中止しなければならなくなりました。

晴れの優勝で町長から表彰を受けてニッコリする
むつみチーム



庭球場竣工記念

初のテニス大会

愛好者が集う

町立軟式庭球場の竣工を記念して九月二十八日、町内のテニス愛好者が集い、塩口北野に完成した同庭球場でテニス大会を行った。

この大会に先立ち、九月二十四日には初心者コースと経験者コースをわけて軟式テニスの講習会を開き腕を磨いた。
当初テニス人口が確認できず

参加人員が心配されたが、一般男子ダブルス十組、一般男子シングルス十六名、一般女子シングルス五名、高校男子シングルス七名の約三十名の愛好者が参加した。

- ▲近藤浩、榎庭賢一
- ▲肥田野将義、吉田道一
- ▲丸谷正司(塩口) ②児玉有男(天王) ③斎藤逸実(蒲沼)
- ▲一般女子シングルス
- ▲石黒貞子(天王) ②原田ミサ(塩口北野) ③鷺谷和美(二田)
- ▲高校男子シングルス
- ①近藤浩(二田) ②榎庭賢一(塩口) ③伊藤浩一(二田)

湖岸地区総合運動場

招待野球で 完工を祝う

今年度完成した湖岸地区総合運動場の竣工を祝って九月二十八日招待野球記念大会を同運動場で行った。

この運動場は、四十九年度から二年計画で進められ、ことしの六月三十日に完成した。面積は観覧席を含め二万一千㎡で、工事費は四十九年度が四百四十八万円、五十年年度が一千万二千三百七十万円の合わせて五千三百七十八万円。

当日招待されたチームは、今年度のおはよう野球大会や町内の各種野球大会で優秀な成績をおさめたチームで、追分モーニングガイズ、むつみゾーンエイズ、江川キングズ、二田球友クラブの四チーム。

また、エギジビションゲームとして井川町役場を招待、本町の役場チームと対戦し大会を盛り上げた。

当日の成績は次のとおり

▼一回戦

追分モーニングガイズ2-0 江川キングズ

むつみゾーンエイズ8-6 二田球友クラブ (延長10回)

▼決勝

むつみゾーンエイズ1-0 追分モーニングガイズ

▼エギジビションゲーム

井川町役場1-0 天王町役場

いに発散していた。しかし、まだテニス人口も少ないせいか技術の差が大きく、今後この庭球場を中心にテニス仲間の輪を広げるとともに、みんながゲームを楽しみ健康増進に役立てよう。

当日の成績は次のとおり

▼一般男子ダブルス

①近藤浩、榎庭賢一

②斎藤逸実、伊藤力夫

③肥田野将義、吉田道一

▼一般男子シングルス

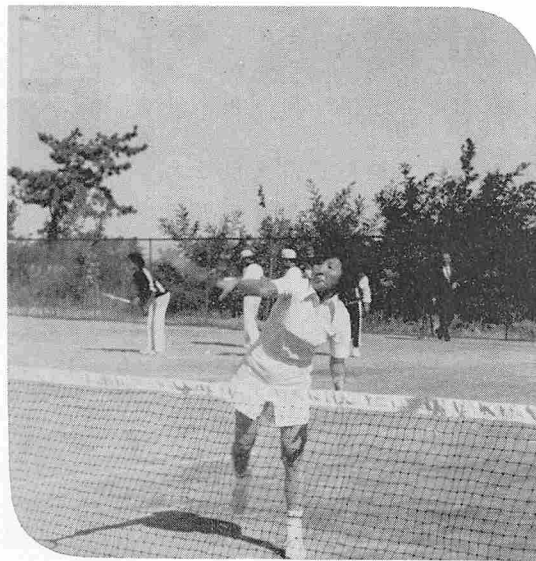
①丸谷正司(塩口) ②児玉有男(天王) ③斎藤逸実(蒲沼)

▼一般女子シングルス

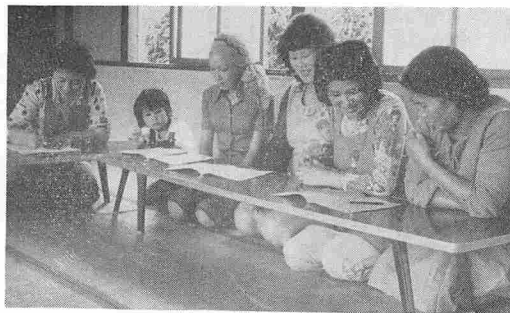
①石黒貞子(天王) ②原田ミサ(塩口北野) ③鷺谷和美(二田)

▼高校男子シングルス

①近藤浩(二田) ②榎庭賢一(塩口) ③伊藤浩一(二田)



▲ソレーとばかりに相手コートめがけてラケットをスイングする選手(一般女子シングルス)



研究グループめぐり
上戸生活学級



上戸生活学級は上戸部落の若い婦人の集りで、発足は本町でも早いほうである。はじめはなかなか会合を持つことができなかったが、年三、四回のものであった。会員の集りもよくなき、遊ぶためとか骨休めの会だなどといわれた。しかしそんなことにはくじけることなく「集って話し合うこと自体が社会勉強である」、みんなで作る「レクリエーション」は即新生活であるという信念を強め、互いに励まし合ったのである。

その後家族の協力も増大し、部落の応援などもあって、ようやく一人前のグループになったのである。

ことしの会員数は十七名、委員長村田敏子さん、副委員長武田彰子さん、書記笹淵ハツエさん、会計菊地千和子さんのもとにみんな元気よくがんばっている。

年間十回の会合を予定し、ことしは冠婚葬祭における礼儀作法と着付実習に主眼をしぼり、社会見学、踊り講習をおりませりっぱな社会人、ゆとりのある人生を求めて、力強い歩みをつけている。

▲生活改善について勉強会を開く学級生

短歌

天王町短歌会九月会より

二田 上法 香苗

夜の雨はれて露おく百日紅その葉その花日に輝きて

天王 児玉 三朗

うねり見せ落ちゆく水にあらがいて光りつつ来るサヨリ子の群れ

二田 真壁 キサ

湯あがりのほほをかすめる黒き蚊が夏の終りを細く告げゆく

二田 渋谷 キン

亡き母の使いなれたる居間の椅子に赤く爪染む蛙のかけいる

渋谷 榎庭アヤエ

奥山の出湯の客は八十五かや刈りふきとりたまげた老婆

